

2026年5月7日より、西村歯科の兄弟院として「フェニックス通り歯科」が堺市宿院に開院いたしました。

フェニックス通り歯科の名前の由来は、堺市の「フェニックス通り」にちなんで名付けました。戦後復興のシンボルとしてフェニックスの木（カナリーヤシ）が植樹された歴史があり、地域の皆様にその名称で親しまれてきたといいます。復興と再生の象徴でもあるこの名前に、地域の皆様に長く寄り添い、安心して通っていただける歯科医院でありたいという想いを重ねています。当院では「痛くなってから通う場所」ではなく、健康なお口を長く維持するために気軽に相談できる歯科医院を目指しています。患者様一人ひとりのお話を丁寧に伺い、十分な説明を行ったうえで、安心して治療を受けていただける環境づくりを大切にしています。

そして、お子様からご高齢の方まで、ご家族皆様が安心して通える“地域のかかりつけ歯科医院”として、予防やメンテナンスにとくに力を入れた医院づくりを目指しています。西村歯科で長年培われてきた、地域に根ざした予防医療を本流に、新たな地でもスタッフ一丸となって地域の皆様に貢献できるよう努めてまいります。今後ともフェニックス通り歯科をどうぞよろしく願いいたします。

フェニックス通り歯科 院長 森戸 大史

梅雨の準備はできていますか？

湿度が一気に高くなる6月は、カビやダニが最も繁殖しやすい季節です。これらは住まいを傷めるだけでなく、空気中に浮遊する孢子や死骸を吸い込むことで、アレルギー性鼻炎や喘息などの一因になります。特に気密性の高い現代の住宅においては、室内の環境管理が健康維持の重要な鍵となります。

対策の基本は、確実な「換気」と「除湿」です。窓を2箇所あけて空気の通り道を作り、定期的に換気を行うことで室内の余分な湿気を効率よく逃がすことができます。また、寝具は就寝中の汗により水分がこもりやすいため、布団乾燥機を活用したり、こまめにシーツを洗濯して乾燥させたりすることが効果的です。

さらに、本格的な夏を迎えてエアコンを稼働させる前に、フィルターや内部の掃除を済ませておくことも重要です。カビの孢子を室内に飛散させないように、今のうちに点検しておきましょう。

医療ライター 妹尾 淳子



フェニックス通り歯科 歯科衛生士のご紹介

好きなものはアイスやシチュー、ハンギョドンで、体を動かすことや楽しいことが大好きです。みなさんと沢山お話ししながら、楽しく笑顔で過ごせたら嬉しいです。今年の目標は「自分自身を知ること」で、自分らしく成長していきたいと思っています。毎日笑顔を大切にしながら、仕事にも一生懸命取り組み、周りの方との時間も大切にしていきたいです。これからどうぞよろしくお願いします！

吉川 歩侑奈

気さくで話しやすい性格なので、患者さまにリラックスして通っていただけるよう心がけていきます。まだまだこれからですが、何事にも前向きに取り組み、歯科衛生士として日々学びながら成長し患者さんに貢献していきたいです。競馬が趣味なので、みなさまとお話出来れば嬉しいです。よろしく願いいたします。

新出 美優

患者さまに愛される歯科衛生士を目標に、1日でも早く医院に貢献できるよう一生懸命頑張ります。周囲からは裏表のない性格だとよく言われます。趣味は美味しいご飯を食べることで、休日はお気に入りのお店に行ったり、新しいお店を開拓したりしています。好奇心旺盛な性格なので、皆さんとさまざまなお話ができたら嬉しいです。よろしく願いいたします。

宮 貴子

編集後記

梅雨の時期は、「なんだか眠い」「体がだるい」と感じる方が増えるそうです。これは、雨の日に気圧が下がることで自律神経のバランスが乱れやすくなることに関係していると言われてます。また、日照時間が少なくなることで、体内時計にも影響が出やすくなるのだとか。

そんな日は、朝にカーテンを開けて光を浴びたり、軽くストレッチをしたりするだけでも気分転換になります。温かい飲み物を飲んで、ほっと一息つく時間を作るのもおすすめです♪

「ほほえみ」バックナンバーはホームページにも掲載中です！